

## 修復のクリーニングプロセスにおける 問いのツールリスト

### クリーニングの前

- クリーニングは必要か？クリーニングを行わないという選択肢はあるか？
- クリーニングをすると何が良くなるか？
- のこしたいもの、取り除きたいものは何か？（だれが決めるのか？）
- どこまでクリーニングするのか？
- 可能なクリーニングのレベルはどれくらいか？
- 

### ミュージアムクリーナーを使用する際

- 表面は堅牢か？（掃除機で吸い込んでしまわないか）
- 壊れている部分はないか？
- HEPA フィルターが必要か？（鉛など有害なものが表面に粉状化していないか）
- 

### クリーニングテストの際

- オリジナルの表面には、彩色やコーティングがあるか？
- それらは何で溶解するか？
- 除去したい汚れは何で溶解するか？
- オリジナルにダメージを与えずに、汚れを除去することは可能か？
- 

### ウェットクリーニングの際

- クリーニングは均一にできているか？
- 除去しているのは汚れか？（想定外の反応があった場合はストップする）
- 少なからず変色やオリジナルへのダメージがある場合、どこまでが許容範囲か？
- 溶剤は人体にどのように影響するか？
- 環境にはどのように影響するか？
- どのように廃棄するか？
- 

### ゲル、湿布をする際

- どのような特性が必要か？（粘度、弾性、硬度、浸透性、垂直方向か水平面）
- どれくらいの時間湿布することが必要か？
- 残留物はないか？
- 少なからず残留物の可能性がある場合、それはオリジナルに影響を及ぼすか？
- 

### 対話、コミュニケーションの際

- 誰と対話すべきか？（所有者、キュレーター、科学者、地域の人など）
- だれが判断するのか？
- 修復方針の合意はしているか？
-